



尚  
和  
会  
報

写真＝現校舎正門よりシンボルの桜を見る

尚和会総会のごあんない  
今年は母校で開催—5月20日[日]

- ◆総会——12:00～12:30
- ◆立食パーティー——13:00～14:30
- ◆アトラクション——マジックショウ／豪華賞品の福引
- ◆会費は無料です

90

平成2年5月1日

発行——  
尚和会  
桜塚高等学校同窓会  
発行責任者——  
谷田 探成  
編集責任者——  
鈴鹿 常雄

平成2年5月1日

## 尚和会会報



ご挨拶

尚和会会長

谷田探成

ごあいさつ

大坂府立  
桜塚高等学校長

西岡稔之

殆んど全世界の花が一堂に会する大阪花博九〇年の年に当たりまして、二五、〇〇〇名の会員の皆様に、常日頃の母校及び尚和会への暖かい御協力に対しまして心より御礼申し上げます。とりわけ皆様を代表して、役員又は理事になつて頂いている方々には、常々のご熱心な会合への御参加、御発言、御議論には全く感謝以外の何物であります。

一昨年五月の総会におきまして、高津前会長よりバトンを渡されて会長職に就任以来、微力乍らも目標を二、三点挙げ、皆様方に自分の希望として発表させて頂きました。即ち前会長より受け継いだ、この伝統ある尚和会をより活発な会にすることが一つ、一人でも多く理事の方々の御参加のある理事會にすることが一つでした。昔はあつたが現在は殆ど又、更に会則第一条に記載されているが全然なかつた支部の存在でした。昔はあつたが現在は殆ど見当らない支部の創設をかねてより私は望んでいました。そこで理事会の御賛同を頂いて、希望者会員の最も多い東京地区——東京、千葉、神奈川、埼玉——の方々よろ高女の関さん(一期)、金ヶ江さん(五期)、高校卒石井君(三期)、杉山君(四期)の四名の方々を世話を頂いた方々のご苦労は大変だった事を感じ乍らもあの茅場町人として中心になつて働いて頂き遂に昨年十月七日第一回東京尚和会創会を開く事ができました。お世話を頂いた方々のご苦労は大変だった事を感じ乍らもあの茅場町の鉄鋼会館指定期間会場へ集合された

百六十名からの会員の顔を見せて頂いた時は、正にほっとした思いがしました。本部から役員数名が当日、五十周年に作つた会旗を持つてかけつけました。

形通りの挨拶も終わつて個々の出席者の顔をよく眺めるとやはり桜塚は東京にも進出していた事がしっかりと見られました。次回も所での再会を約して別れました。

十月第一土曜日正午より、同じ場

これから色々と問題もありますが、当事者の方々の固い決意を伺つて私は安心しております。着実に地盤を固めていつて下さる事と期待しています。東京以外でも百名位の参加の見込める他の地域で、こうした支部創成の希望があ

り重大であります。

将来への予測については、目先のことよりも、今の高校生の将来

という観点で考えなければなりません。例えば、「文芸春秋」二月臨時増刊号は、「90年代世界はどうなる」日本はどうなる」の特集号

で百六十人からの日本を代表する人達の予測・観測が掲載されています。これらも参考となります。

尚和会の会員諸氏におかれましては、将来に自信を持つて教育に携わらなければならぬと思ふもの

があります。しかし、社会や歴史の変化に十分観測と予測を立てな

がら進めていくことは、責任の大性とともに、骨の折れる仕事であります。

尚和会の会員諸氏におかれましては、本校教育についての厳しい所感を、多数の方からお寄せ頂きましたが、私どもそれを謙虚に受け止めさせて頂きたいと存する次第であります。

今後ともご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

## 定期制の近況

桜塚高等学校  
定期制前教頭

西村紀男

御多幸と御健康、御活躍を祈念い

たします。

また、1987年に出版された

その時の日本経済・世界経済の動向はどうなるのであろうか。そういった危惧を感じさせる書物であります。

方もあり一層のご参加を切にお願い申し上げます。

最後に会員皆様方のより一層の

御幸運と御健康、御活躍を祈念いたしました。

その結果、本年度の入学者は補欠入学者一名を加えて、百四十名となり募集定員の百六十名を大きく下回りました。

一方、本年度は男子四十五名、女子二十名、合計六十五名が四年間の学業を終えて卒業しました。

卒業生の進路状況を報告しますと、新規就職決定者(学校紹介による)十一名、継続就職決定者二十二名

が到來したようです。

中卒者数の減少が始まり、いよいよ定期制への入学者数の激減期が到来したようです。

一方、本年度は男子四十五名、女子二十名、合計六十五名が四年間の学業を終えて卒業しました。

卒業生の進路状況を報告しますと、新規就職決定者(学校紹介による)十一名、継続就職決定者二十二名

が到來したようです。

中卒者数の減少が始まり、い

雜感

馬場文子

尚和会の皆さん お元気であります。

便利になつて分校の必要性もなくなつて次々に廃校となり本校一本になりました。長い間には糺余曲折あり、悲喜交々の想い出が走馬燈のよう脑海をかけめぐります。

高女一期生より亡き先生がたへ  
記念文

沓掛紀一先生

藤沢千鶴子

尾崎健三先生

# 尚和会平成元年度 活動報告について

## 不動産 会社・法人 } の登記手続代行

# 府上司法書士事務所

した私でしたから、そこからの勉強でした。当時は本校夜間定時制の他に分校が三つ（庄内・萱野・吉川）もあり、とても複雑で先人の御苦勞がしのばれます。世情も落着き、地域開発も進み、交通も



便利になつて分校の必要性もなくなつて次々に廃校となり本校一本になりました。長い間には糸余曲折あり、悲喜交々の想い出が走馬燈のように脳裡をかけめぐります。生徒待望の修学旅行に付添い、熱電した途端、台風のために列車は不通となり、動けず、八方手をつくして宿をさがしてもらい、風に飛ばされそうになりながら上野の旅館にゆき翌日帰路につき、断続的に停車しながらやつと帰れたことや、夏休み中の九州への修学旅行など二十時間もかかつてやつと長崎に着くなど。新幹線を利用して短時間で目的地につく現在とは本当に隔世の感があります。

時代の移り変わりと共に定時制も随分様がわりし、高度経済成長の波の内で九州・四国など他府県出身者が約半数を占めた状況から殆んどが府内出身者へとなり、永らく居る間に微温湯につかたようになつてしまつたことを反省しています。応接室に掲げられてゐる歴代校長先生のお写真を見上げますと、存じ上げないのは初代だけという本当に長い御縁でしたのが、その間に一貫して、心の交流を大切にしていきたいと心掛けておれば幸いだが……と思つております。とりとめないことを書きつらぬましたが皆様のますますの御健勝と母校の発展と尚和会の弥栄を祈念いたします。

「偲ぶ草」  
高女一期生と  
菅掛紀一先生  
藤沢千鶴子  
御両親を早くに亡くされ、祖父母様のもとで成人され、御病気がちだつた数学の菅掛紀一先生が、昨年八月逝去されました。頭脳明晰で誠実そのものの御生涯を顧みて、哀惜の感無量です。十年前、有志で赤穂までお見舞がてら一泊の旅をし、先ずお宅へ参上しましたが、たゞ全身でその一刻を喜んでおられたようでした。教え子の方の車で私たちをホテルへ送つて下さり、翌朝は同じ車でのお迎え名産のお土産の手配と至れり尽くせりでした。今でも忘れられません。暑い時の御葬儀で失礼しましたが、御生前に喜んでいただけたのが何よりも自らを慰めていました。合掌。

## より亡き先生がたへ

### 尾崎健二先生

内藤 純子

豊島東京五期会の追慕の情切々たる弔電に耳を傾けながら、尾崎健三先生との出会いの日を鮮烈に思いだしてしまった。それは、全く未知だった幾何（学）との出会いでもあったのです。

戦時中、少女らしい楽しみも少なく、知識欲の旺盛な年ごろでもあつたからか、初めて知った三段論法の魅力のとりこになつてしましました。「世の中にこんな面白いモノの考え方があつたのか…」その弾んだ気持と、やんちゃ娘どものふざけ心とが交錯した産物が、日ならずして献上した綽名（五角形）でした。顎の張ったお顔の輪郭と律義なお人柄に加え、御専攻の幾何学に因んだ傑作だったと今でも信じています。が、当の先生はご存じだったのでしょうか。また、幾何（学）への愛着の深さもついに先生に告げることはなかつたのです。ともあれ、先生の歯切れのよい魅惑的な授業は、生來理窟っぽい私の性格に微妙に作用し、今なお身近な人たちを辟易させていることも確かです。

創立五十周年記念誌を作るため、高女期の旧師と生徒たちが母校で座談会をもちました席上で、久しうりにお会いして、私たちが卒立つた後の、敗色濃い戦時下でのご苦労話をうかがい、生徒への思い

尚和会は、ご承知のように通常は、役員会、理事会、広報部会、行事部会、総務部会を以つて運営されている。

尚和会は、この度、理监事会開催の準備(議題、資料)の他本年度は、会則改正及び東京支部設立に対応する必要があり、例年より頻繁に開催された。(十回開催)

『役員会』

理事会開催の準備(議題、資料)の他本年度は、会則改正及び東京支部設立に対応する必要があり、例年より頻繁に開催された。(十回開催)

『理事会』

総会での決議事項を除く尚和会運営の重要事項(予決算の承認他)の審議、決議を行い、本年度は二回開催された。

そのうち一月に行われた理事会は大阪、南の宗右衛門町「いろは会費制」で開催され議事終了後新年宴会となり理事の親睦が図られた。

『広報、行事、総務部会』

尚和会の実務に携わるのがこの部会であり、広報部会は会報の発行(編集、校正)、行事部会は総会の開催を重点的に、総務部会は各部会の取りまとめや名簿の整理等各々の担当業務を円滑に推進するため、度重なる部会の開催を行つた。(広報四回、行事三回、総務部会五回)

『会則改正委員会』

昭和六十三年九月に発足以来通常七回の委員会が開催された。

会員総数約二万五千名の尚和会にふさわしい会則をめざして現在鋭意検討中である。

『その他』

0727・93・0693  
**ミリア**  
へのリフォーム  
で婦人服のオーダー  
の寸法直しとファッショントリーム  
お取り次ぎ  
美子(高女一期 内藤純子実妹) 日曜休日  
ンタービル2F(能勢電平野駅下車徒歩10分またはバス1駅)

不動産 } の登記手続代行  
会社・法人 }

# 府上司法書士事務所

豊中市岡町北2丁目18-32  
大阪法務局豊中出張所向い  
TEL (06) 852-5841・7122  
FAX (06) 855-7391  
司法書士 **府上恵二**(定時制4期)

平成元年十月七日 東京日本橋の鉄鋼会館に於いて、東京関東在住の会員百六十名が参加して盛大な同窓会が開催された。  
尚和会から会長及び数名が参加して、東京支部設立の地固めがなされた。



- 着物から洋服へのリフォーム
  - お手持ち生地で婦人服のオーダー
  - 紳士・婦人服の寸法直しとファッショナリーフォーム
  - クリーニングのお取り次ぎ

徳島 季美子(高女一期 内藤純子実妹) 目隠体

多田グリーンハイツセンタービル2F(能勢電平野駅下車徒歩10分またはバス1駅)

豊中市岡町北2丁目18-32  
大阪法務局豊中出張所向い  
TEL (06) 852-5841・7122  
FAX (06) 855-7391

司法書士 府上恵二(定時制4期)



## 桜咲く母校

高七期 富岡 徹

「よいしょ、よいしょ！」運動会の優秀クラスを決める綱引きで、辛くも学年優勝を得た。昭和二十九年秋のことである。三年二組は、春秋に富んだクラスであった。松浦良雄校長の子息の松浦尚和会理事も、その一人であった。去年、訪校した。全く、当時の木造校舎はなく、コンクリートになつてゐた。これと共に、後輩の成績も向上して、立派な学生が生まれている点も嬉しい。受験校になつたが、環境の良さと、女子学生の良さは伝統になつていてるらしい。東京に生まれた点は本当に嬉しい。これまでの先輩や後輩の御配意に対して、感謝が一層深い。母校、四月のあの麗わしき桜の花のように、当会が伸長していくものと、確信している。当時の恩師の多くが、鬼籍に入られたが、中でも、生物の熊丸、英語の石川、音楽の大北の各先生との高校生活は忘れられない。母校と創会の繁栄を待望している。

高十期 藤崎 達

東京尚和会開催、お世話様です。企業の広告・PR計画、イベントの企画などなど、いささかうさん臭い仕事を続けて、東京在住も二十年近くになりました。根っから戦中世代大阪人ですから、渋谷、Hakko、パール・バー、メツセ、クア・ハウス、ウォーター・フロントと、まあ、仕事柄次から次から軽薄なトレンドとやらに追いかけられて老眼気味の目、ひた隠しつつがんばっているのにもいささか疲れてきました。その上、家に帰れば、すっかり東京っ子し

尚和会東京支部、創会、開催を中心喜んでおります。又、同時に、お世話を下さった方々に数々の御苦労を、おかげした事と感謝しております。

結婚以来、東京—名古屋—東京一千葉—西宮—千葉と夫の転勤で引越しは九回致しました。同窓会

高十九期 久保田 修  
四十一歳の生物部員

高十四期 清水 康子  
創会に寄せて

尚和会東京支部、創会、開催を

心から喜んでおります。又、同時

に、お世話を下さった方々に数々の

御苦労を、おかげした事と感謝し

ております。

尚和会東京支部、創会、開催を

心から喜んでおります。又、同時

に、お世話を下さった方々に数々の

御苦労を、おかげした事と感謝し

平成2年5月1日

## 尚和会会報

豊中高女四期生会の  
集い 報告

毎年、集いを楽しんで居ります。私たち豊中高女四期生会は、平成元年最初の記念すべき同窓会として、私共の心のふるさと、豊中の「ホテルアイボリー」二階で、五月二十七日(土)菅先生を開き同窓生三十八名の参加をいただき、なごやかな一時を持つことが出来ました。大阪空港に近い地の利もあって、特に遠方からも珍しい方々の出席もあり一同感激致しました。

文字通り激動の昭和と共に生きてまいりました私達も還暦を過ぎて、皆さまます若々しく元気で平和と繁栄の日本に、今は幸せな日々を感謝と共に生きて居ります。

## 平成元年度幹事

尼木久子(岡本)

豊田佳子  
前田康子(芦森)記高女五期生会  
藤平(片桐)レイ子

平成元年十一月七日(火)、久々に京都に席を設けました。

紅葉の名所、嵐山の「花のいえ」は前夜からの小雨に洗われ、紅葉には少し早かつたものの、しっかりと濡れた木々と石畳が古都の風情を漂わせていました。

岡山からお出掛け下さった竹内先生はじめ、はるばる東京からもかけつけて下さって、総勢五十名のなつかしい笑顔が集いました。

いつの間にか還暦を過ぎ、長い人生の山坂を越えてきたいま、きようの日がどんなに心安らぐ貴重なひと時であったことか。お一人

お一人がそれぞれの思いをこめて披露して下さったお話に無邪気なおかげ、頭の遠い昔がだぶつて感慨無量でした。

明るく広いお座敷にくつろいで、お元気一杯の竹内先生のユーモアあふれるお話に女学生のような笑い声を上げたりしながら、京料理の宴は時を忘れて盛り上がりました。

ただご欠席の方の中には、ご主人やご本人がご病気の方、思いがけずお亡くなりになつた方など、こうして年齢を重ねますと胸の痛む思いもしなければならないのは悲しいことです。当日病状をお案じした尾崎先生も暮れにはどうとうご逝去になりました。つづんでご冥福をお祈り申しあげます。

また、ご出席を楽しみにお待ちしていた奥村先生が、幹事不行届きのせいでおめもじできなかつたこと、申し訳なく心残りに存じました。

次回、より多くのクラスメート

高女五期生会  
高五期 金岡 道子

と再会できます日を楽しみに、みなさま、どうぞお元気でお過ごし下さい。

## もみじ会の記

どことなく春の息吹きを感じら

れる、平成二年二月二十五日(日)同窓会が開かれました。

小高い山の上にある元桂公爵別邸の箕面観光ホテルで、高五期のみ同窓会が開かれました。この日

の会はもともと5組、6組の方の集まりなのをもつと輪を広げよう

ということで急遽、他のクラスの方も参加となりました。

この日は生憎の雨で、開会の正午頃、会場からみはらす箕面の山やまは、折からの雨に烟り、まさに眠りからさめんとしている風情でした。

鶴崎、井上、梅田先生の御出席を得て、出席者は四十四名(男性十九名、女性三十五名)。まず受付で席の籤引き、それによつてテーブルが決められました。みんなで鍋料理を囲みながら、話に花を咲かせ楽しい一時を過ごしました。東京方面からかけつけられた方も二人いらつしいました。

それにしても御出席の先生方に

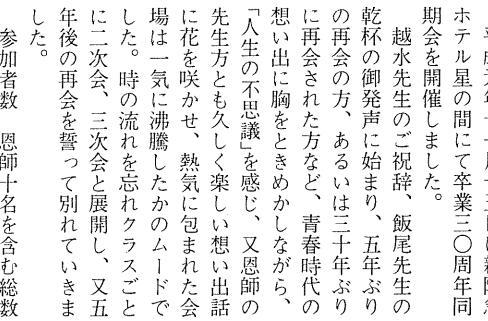
いため休日をさけましたのでお出いくの方のあつたことも残念でした。観光地、京都の秋は、人出が多くなつたことも残念でした。

次回、より多くのクラスメート

高五期 北之坊英美子  
前田憲男さんの  
コンサートに参加して

た。今度は若さを保つ秘訣を教えていただきたいもです。

宴席にはカラオケも用意され、ノドを披露して下さる方もありました。宴の果てる頃には雨もすっかり止み、お互いになごりを惜しみつつも散会となりました。今回は欠席の方も、次回は是非の御出席をお待ちしております。

十一期三十周年同期会  
田中 渡

二時間ばかりの楽しい演奏会でございました。

二時間ばかりの楽しい演奏会でございました。

とても我国で知らない人がいない位有名な前田さんに、尊敬の念をいたしました。

二時間ばかりの楽しい演奏会でございました。



## 尚和会会報

## 尚和会協力金のお願い

会員の皆様から前年度も尚和会協力金を頂戴致しました。

御承知の通り、尚和会の運営資金は、新会員の入会金と、皆様から頂戴致します尚和会協力金からなつております。尚和会として、推進しなければならない行事を、スムーズに遂行するためには、是が非でも、尚和会協力金が必要です。毎年続けて、御協力賜りますよう、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

## 卒業四十周年 高三期生

平成三年に卒業四十周年を迎える高二期生諸君に告ぐ！

平成三年五月二十六日(日)  
記念三学期会！ 正午より

新築！ 南海サウスタワーホテル  
にて盛大に開催します。(ナンバ)

## 四期生の皆様

## おかげでございませんか

卒業三十周年(三十五周年)、尚

和会五十周年記念パーティでお会いしたあと、しばらく集まりがないので、催促の声がかかりはじめました。秋頃にでも、相談中です。(東京四期会は毎年四月第三土曜日に開催されています)それに先がけ四期会名簿をつくることになりました。

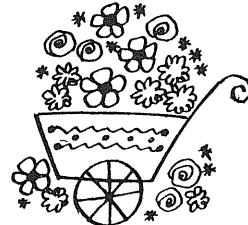
今回の会報の宛名の不完全な方、又住所、電話番号に変更のある方は、お知らせ下さい。住所不明者もわかりましたら、よろしくお願ひいたします。

豊中市本町七一五—一〇  
本田 陽子 宛  
または  
豊中市上野坂二十八—一二  
中村 千鶴子 宛

## 理事

昨年夏 一、二組のクラス会を開きました。夏休み、お盆前といふこともあって、ちょっととさびしい集まりでしたが、武井、井上三郎両先生のお元気なお姿に接し、有意義なお話を伺え、私たちもますますハッスルせねばと顔を見合わせ、本当に久し振りのご出席の方もあり、いい雰囲気の中、話がはずみ、気の抜けない所での、楽しいひとときでした。

## 世話人



## ご協力ありがとうございます！

## 総務担当副会長

## 小川尚子(高四期)

や、月日のたつ早さの驚きは、皆さまも同感でございましょう。今年もまたその時期がめぐり、広報部は、一年分の原稿を集めて、尚和会の活動の模様をお伝えすべく

会報づくりに、行事部は、総会、アトラクションに、会員多数の参加を期待できそうな企画と準備に、和会五十年記念パティでお会いしたあと、しばらく集まりがないので、催促の声がかかりはじめました。秋頃にでも、相談中です。(東京四期会は毎年四月第三土曜日に開催されています)それに先がけ四期会名簿をつくることになりました。

尚和会の事務をお受けいたしました。尚和会の事務をお引き受けいたしました。

尚和会の事務をお引き受けいたしました。尚和会の事務をお引き受けいたしました。

尚和会の事務をお引き受けいたしました。

## お願い

住所変更と改姓はすぐにお届け下さい

## お届け先は

〒五六〇 豊中市中桜塚四一一一  
大阪府立桜塚高校同窓会尚和会宛に

## 初体験あれこれ

## 総務部

◇総務担当副会長から、平成元年度会報発送部数一八五〇〇 そのうち返送分(現住所不明による六百通以上との報告に啞然とする。通信費の無駄……そう直感し、問題解決へと総務部として立ち上がったことはいうまでもない。

◇六百余通の現在所調査作業に続いて、本年度発送準備の手はじめに、会員の死名シールのチェックに取りかかったが、これが数年来のかなりの返送分(理由は同じく住所不明)をやむなく除外し、整理済みとして暗澹たる思いだつた。

## 情報システム開発

## 新日本電工株式会社

生産事業部副部長 小柳大吾  
旧姓 永野(高校15期)

工場 〒574 大東市寺川4-8-26  
TEL 0720-71-3471  
FAX 0720-71-3326

## 呉服のふる川

古川 四六三

(高校15期)

〒562 箕面市桜井2-2-1  
TEL 0727-22-2564

青写真・マイクロ写真  
カラーコピー・縮小拡大コピー

## 株式会社 光工業写真

田畠保英(高校15期)

〒543 大阪市天王寺区南河堀町8-17  
TEL 06-779-8039

## 短信

女一期 中西(大嶋)明子

四十才前半に罹った脳溢血の後遺症の右半身のしびれと言語障害も殆ど直ります。今年から名実ともに老人の仲間入りと音楽と共に、ある毎日はとても樂しく、好きな料理作り、花と野菜を少し作つたりして、暢気に過ごしています。

女六期 万代(石橋)共子

毎年会報をお送り頂きまして有難うございます。同期の方達のお名前が出ていますととても懐かしく思います。昨年末マンションに転居しました。ずっと会社勤めをして居るので、いまだ荷物の整理もして居りませんがお近くの方一度お寄り下さい。

女六期 長山(橋本)千加

会報をお送り下さりありがとうございます。そのたびに理事の方々の御苦労を感謝申し上げます。同窓生の方々の各地に於ける御活動を嬉しく読ませて頂きました。なつかしさで一杯です。五十年を過ぎた尚和会のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

高一期 深田(北之坊)昭子

尚和会会報有難うございました。高女七期生会の一庫での写真なつかしく拝見致しました。丁度その頃(十一月三日)主人が亡くなり私もまた体の調子がよくなく外出できませんので欠席させて頂きました。た。

皆さまのご健康をお祈りします。

高二期 松本 国照

谷田探成氏の会長就任、おめで

とう。そしてご苦労様です。大変でしようが、母校と尚和会发展の為、健康に留意して頑張つて下さる。高津前会長ご苦労様でした。

同期生の両君の活躍に感謝して、早速協力金を送らせて頂きます。

高五期 藤波(青山)純子

お世話さまになりまして、有難うございます。親しみやすいサイズで、なつかしく読ませて頂いております。大阪に住んでおりました、もうと身近に桜高や、尚和会を感じられるのに思いつ。

高七期 白井(田島)礼子

いつもお世話様です。尚和会会報を楽しく読ませて頂き乍ら、はるか遠い日々を懐かしく思い出しております。尚和会の益々の御発展をお祈り申し上げます。

高七期 仁木(阿部)悦子

多くの会員の御苦労に感謝致しております。

高十五期 有賀(神田)祥子

早や卒業三十五年です。同級会に出席したいと思つて無沙汰して居ります。

高十一期 小出(藤田)綾子

尚和会報いつもありがとうございます。当地にありますと、なかなかお友達ともお会いする機会もありませんが、昨年息子が大学で桜塚出身の方とお友達になつたよう、時々『桜塚君』のことを話してくれました。今は下宿生活を始め、めったに帰つてしませんが

高十九期 岡崎(佐々木)美津子

娘が高校受験の年齢となり、年月の流れの速さに驚いております。

高二十期 山口 恭史

尚和会役員の皆様、いつも会報を送つて下さいましてありがとうございます。先居ります。有難うございます。先

生方の異動を見ましても知らないお名前ばかりで、時の流れを感じます。ところが今年は赤崎先生の名前を見まして、思い出しました。いつも調理前の準備をして下さいて、色白の優しそうなお顔を。お元気で。

高十五期 西野(前田)由美

昨秋、二十五周年記念同窓会に

広島から出席させて頂きましたが、今春、夫の転勤に伴い住みなれた広島から、東京に転居致しました。

尚和会の関東支部も近いうちにできるとか、その時には会員の皆様とお目にかかり、お話をできる日を楽しみにしております。

高二十一期 山岡(加藤)敏子

結婚して十七年目に入り、二人の子供も、中学生になりました。

卒業以来、わりと近くに住ながら、一度も学校を訪ねたことがありません。その上、同級生の消息も全くわからず、同窓会も、二十年余り開かれておりません。さびしい限りです。

高二十二期 清水 敏幸

昨年から高石市の羽衣学園高等

学校で数学の教員をしております。

坪田先生をはじめ在学中お世話に

なりました先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。これか

らした後に、東京にもどつてしま

した。東京暮らしも落ち着いたと

思われるころ、生来の放浪癖が頭

をもたげてきて、それ迄やつてい

た仕事をやめて中国・フィリピンへと旅行。

約七ヶ月にわたる旅行から帰つてきて、あてもなく書いた旅行体験記がこのたび出版されることになりました。これまでの体験を自分的に取り入れて書いた旅行記です。全国の書店でお求めになれますので、ぜひ御一読下さい。

『女ひとり中国を行く』(北斗出版)『出ようかニッポン、女31歳』(講談社)『山本美知子著

四月に静岡県に引越しました。

生まれて初めて大阪を離れましたので、狭い日本の中に居ながら、大阪と藤枝の様々な違いに、シヨツクを受けています。テレビで大阪が聞けると、とても嬉しくなつてしまします。

阪弁が聞けると、とても嬉しいな

高二十三期 多田 俊一

昨年十二月転職し、十年間生活していた播州赤穂を後に神戸年代になりましたが、思い出多い桜塚時代の三年間は忘れることが出来ません。

ございます。先日読んだ咲田親氏(故人の小説「商戦」)に母校の描写がありました。四十才に手の届く

時代になりましたが、思い出多い顔を。お元気で。

高二十八期 大江(西田)さやか

もう高校を出て早や十五年が過ぎようとしています。みんなどう

しているかな。同窓会をやりたいためですね。どなたか号令をかけられません。さびしい限りです。

高三十五期 清水 敏幸

坪田先生をはじめ在学中お世話に

なりました先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。これか

らは桜塚高校の卒業生に負けない人間育成を目指しながらもうと思つています。

高三十六期 真鍋佳津子

今年は会報の発送作業に参加で

きました。だつて二十九日

に尚和会館に行つたのにもう人気

がなかった……。(と、斤候に出

てくれたAがしらしてくれた。)

定十二期 井上 義雄

尚和会会報のご送付有難う。日

本エアシステムに勤務し、横浜に

造君初め皆さん集合しましよう。

南プロカッティング研究所

大阪初の立体裁断研究所

パリ式オートクチュールからプレタポルテまで

プロフェッショナル科 昼間部・夜間部  
速成科 日曜コース  
スタイル画科 所長 南 正枝  
産業パターン科 (15期生)  
毎月入学可(学則200円)

〒531 大阪市北区中津2-5-2 光徳ビル2階  
TEL 06(373)1347  
(梅田駅より徒歩7分・中津駅より徒歩5分)

カラオケ居酒屋  
やま田耕三  
(高校15期卓球部)

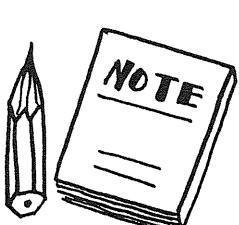
石橋駅 養老の滝 2階  
TEL 0727-61-1810

〈不動産全般〉

大隆商事

箕面市新稻7-9-11  
TEL 0727-23-9580

大下隆一郎(高校15期)



## 尚和会協力金

ご協力頂いた方々

(順不同·敬稱略)

(11)

〔一千四〕  
舊職員

清水夫美子

宇都宮陽子  
末永香枝子  
三上由紀子

野村弘栄子  
瀬戸屋 文  
新井良子

## 昭和63年度決算報告

1988.5.1 ~ 1989.4.30

〔一般会計〕

科 目		予 算	決 算	過 不 足	備 考	平成元年予算
収入の部	入会金	1,920,000	1,923,000	3,000	641人	1,917,000
	尚和会協力金	1,300,000	1,568,258	268,258		1,400,000
	広告収入	200,000	225,000	25,000		200,000
	雑 収 入	300,000	732,326	432,326	記念品、名簿、利息	400,000
	合 計	3,720,000	4,448,584	728,584		3,917,000
支出の部	事務費	800,000	376,856	29,565		300,000
	部会費	393,579				600,000
	慶弔費	100,000	78,500	21,500		100,000
	会館維持費	50,000	64,800	△14,800	マイク3本	100,000
	卒業生記念品代	70,000	68,775	1,225	￥105×655人	70,000
	会報発行費	2,300,000	2,250,187	49,813		2,400,000
	総会費	600,000	439,405	160,595		700,000
	名簿整理費	150,000	120,000	30,000		150,000
	積立金	500,000	500,000	0		500,000
	予備費	124,132				127,614
合 計		4,694,132	4,292,102	402,030		5,047,614
差引	収支	△974,132	156,482			△1,130,614
前期	繰越	974,132	974,132			1,130,614
次期	繰越金		1,130,614			

(特別会計)

科 目	繰 越 金	取 入	支 出		次期繰越金
尚 和 会 積 立 金	5,051,672	464,894	0		5,516,566
名簿発行準備基金	934,852	136,140	0		1,070,992
尚和会事業積立金	1,037,830	2,841,232	0		3,879,062
五十周年記念事業金	2,653,938	49,397	2,703,335	尚和会事業積立金△ 2,700,000	0
合 計	9,678,292	3,491,663	2,703,335		10,466,620

尚和会会報もついにカラーとな  
りました。そしてサイズ、紙質も  
変りました。表紙のデザインは高  
四期 西尾直氏。写真は母校正門  
正面の垂れ桜。四月一日の満開の  
ときのものです。

本号から発送時期が十日程早く  
なりましたので、「教職員人事異  
動」及び「卒業生進学状況」は時  
間的に掲載ができなくなりました。  
次号に掲載させて頂きます。御了  
承下さい。

本号も理事の皆さん、総務部会、  
広報部会幹事の皆さんのご尽力で  
お届けできましたことを報告し、又、  
原稿、広告を下さった方にお礼申  
し上げます。



(定三十二期)	吉田真紀子
(高三十三期)	佐藤晶子
(高三十四期)	鶴銅孝子
(高三十五期)	中村陽一
(高三十六期)	石川真理
(高三十七期)	浜口いつ子
(高三十八期)	朝山喜子
(高三十九期)	村田 淳
(高四十期)	佐藤由紀
(高四十一期)	岡田美紀
(高四二期)	加藤仁志
(定一期)	(定二期)
(定三期)	(定四期)
(定五期)	(定六期)
(定六期)	(定七期)
(定十三期)	(定二十七期)

浦杉さち 麻純子 室佐知子 中村幸子 澄田由美 川西瑞代 朝山浩志 河野雅子 真鍋佳津子 高橋朋栄 石井佳子 中村訓子 関本洋輔 松本秀雄 加藤久佳 井原芳雄 水島通夫 加藤武司 古谷弘 山田律子 辻井憲一

(編集子)

## 各期代表理事

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
女1	内藤純子	06-385-2507	高21	城口真喜子	06-856-0946	定11	永井敏輝	06-852-0333
女2	北川富美子	0798-74-3024	高22	佐々木文子	06-848-3071	定12	笹部修造	06-852-0475
女3	若松栄	0727-62-6287	高23	後藤保二	06-373-7380	定13	中岸澄江	06-843-5737
女4	小林三七子	0797-71-1064	高24	村山哲	06-306-5852	定14	杉本土生	0727-28-1497
女5	河田みちる	0727-23-2626	高25	井上健	06-832-4181	定15	北浦修	06-333-4833
女6	柚木千恵子	0798-74-3415	高26	金ヶ江裕之	06-852-1224	定17	前田政治	06-855-8451
女7	進藤鈴代	06-832-3284	高27	八木智子	06-832-7385	定18	中島健二弘	0727-22-8153
女8	中村陽子	06-844-1570	高28	岸本光子	0727-28-4465	定19	飯田悦弘	06-855-3440
高1	安井道子	0797-86-3831	高29	寺田美智子	06-493-1282	定20	樺原洋一	0727-21-1124
高2	小西満子	06-862-7360	高30	木村慶子	06-853-9213	定21	堀健次	06-878-5694
高3	谷田探成	06-314-0550	高31	榎香世子	06-393-7216	定22	西田惣一	06-333-5948
高4	鈴鹿常雄	06-843-7736	高32	竹田伊都子	06-332-4076	定23	高橋博行	0727-57-0457
高5	宮口一郎	06-852-4859	高33	池本清人	06-866-6789	定24	日紫喜富美	0727-22-5376
高6	一色貞輝	06-852-3962	高34	田尻悦子	06-337-5043	定25	大町裕次	06-862-7083
高7	松浦峻	0798-26-5531	高35	川嶋道代	0727-29-6099	定26	片山勝重	06-843-6443
高8	森田司朗	06-872-3329	高36	安藤昌博	06-832-7930	定27	稻井幸雄	0727-28-0955
高9	小林武夫	0727-62-5143	高37	味元士	06-854-5097	定28	真下保悟	06-385-6190
高10	唐渡吉則	0727-52-4548	高38	堀田繁	06-841-0598	定29	寒川悟	06-607-0580
高11	田中渡	06-852-2923	高39	須崎泰広	0727-52-6441	定30	天涯池みゆき	06-333-5761
高12	谷木光一	06-855-5858	高40	峰松徹	0727-61-0971	定31	松野妙子	06-863-2565
高13	細川和彦	06-849-6879	定3	上田孝彦	06-853-2162	定32	高畠幸三	06-334-1243
高14	松野貞治	0742-62-7235	定4	府上恵二	06-852-7122	定33	繩井富美佳	06-857-1552
高15	大畠光昭	06-841-8135	定5	橋本昌員	06-854-0234	定34	清水美佳	0727-61-3323
高16	秋山日東志	075-962-6064	定6	内田喜八郎	06-856-2515	定35	浜田清文	06-864-6366
高17	福本育馬	06-333-6636	定7	月川憲一	06-849-4773	定36	平島賢司	06-863-1216
高18	北川悟司	06-843-1336	定8	村田毅	06-976-0280	定37	渡部二郎	06-863-0058
高19	奥田敏輝	06-843-9397	定9	大谷収	0720-44-2311	定38	三浦智幸	
高20	山中清利	0727-51-4408	定10	長野昌子	06-844-0473			

## 役員選挙のお知らせ

尚和会の役員は、総会で選出され、その任期は二年です。

今年は、二年目の改選になります。そこでより役員の選出を行います。

現役会員の推せんする候補者について信任を問うことになりますが、別に立候補者があれば選挙を行います。立候補される方は、総会七日前迄（五月十三日）に左記に書面で立候補を申出て下さい。

が、別に立候補者があれば選挙を行います。立候補される方は、総会七日前迄（五月十三日）に左記に書面で立候補を申出て下さい。

役員の定数は、会長一名、副会長若干名、会計二名、会計監査二名です。

## 尚和会役員選挙規定(抄)

第二条 役員選挙は、原則として前期の役員（会長、副会長、幹事、及び会計）の協議により定めた候補者につき信任を求める従来の慣例による。

第三条 前条の他、各役員について総会七日前迄に前期の会長（以下単に会長とする）に対し書面で立候補の届出があつたときは、以下の定めによる。

第六条 候補者が定数を超える役員の候補者及びその推せん者の代表は、総会会場で選挙管理委員の定めるところに従つて投票依頼についての演説をしなければならない。

(届出先)  
豊中市中桜塚四一一  
桜塚高等学校内  
尚和会会长 谷田探成宛

## コピーと印刷のダイセイ

営業品目 青写真/マイクロ/カラーコピー/印刷/和英ワープロ/製図

本社/555 大阪市西淀川区御幣島1丁目10-8 ☎(06)471-3951(代)  
 玉川支店/553 大阪市福島区玉川4丁目11-12 ☎(06)443-7001(代)  
 梅田支店/530 大阪市北区茶屋町5番2号(鈴木シャッタービル1F) ☎(06)372-2481(代)  
 大阪駅前支店/530 大阪市北区梅田1丁目1番(第3ビル3F308) ☎(06)344-1801(代)  
 高麗橋支店/541 大阪市東区高麗橋2丁目33(ヒガシビル1F) ☎(06)222-3715(代)  
 新大阪支店/533 大阪市淀川区西中島1丁目11-16(住商淀川ビル1F) ☎(06)303-2133(代)  
 O B P支店/540 大阪市中央区見2丁目1-61(ツイン21・MIDタワー7F) ☎(06)947-5181(代)  
 千里丘支店/564 大阪府茨木市千里丘5丁目12-8 ☎(06)380-6622(代)



株式会社ダイセイ

尼崎支店/660 兵庫県尼崎市西長洲本通3丁目21 ☎(06)481-8675(代)  
 池袋支店/170 東京都豊島区東池袋2丁目6-11(第2アサビル1F) ☎(03)988-4886(代)  
 新宿支店/160 東京都新宿区西新宿1丁目9-12(第1大正建物ビル) ☎(03)343-5131(代)  
 蔵前支店/130 東京都墨田区石原3丁目22-6 ☎(03)829-4873(代)